

# 競技上の注意

第51回 北海道プリンセス卓球記念大会 審判長 上田 栄子

本大会は、現行の日本卓球ルールを適用して行う。

## 1. ルールの概要

- ・ 11本5ゲームマッチで行う。ゲーム間の休憩時間は1分以内。
- ・ タオルの使用は6ポイント毎と最終ゲームのエンド交替時のみ。
- ・ サービスは、開始から打球までボールをレシーバーから隠してはならない。また、審判員が正規のサービスであることを確信できるよう行うことは、競技者の責任である。
- ・ 一振りの動作で明らかに2度打球した場合を除き、ほぼ同時に2本の指や指とラケットに当たった場合はダブルヒットとは判定しない。
- ・ ゲーム開始後10分経過した場合は促進ルールを適用する。但し、双方のポイント合計が18以上(9-9、10-8)に達した場合は適用されない。

## 2. ボール、ラバー、ラケットについて

- ・ ラバーはラケット本体よりも大きかったり小さかったりしないこと。公認マーク・メーカー商標・ロゴなどはグリップに最も近い場所にはっきり見えるように貼らなければならない。
- ・ ゲーム中にラケットを破損した場合は、スペアラケットか競技領域内で手渡されたもので直ちにプレーを再開すること。
- ・ 外国製のラバー及びラケットでJTAAの公認マークがないものを使用する場合は、予め審判長の許可を受けること。
- ・ 試合中のインターバルでは、ラケットはテーブルの上に置くこと。
- ・ 公認の接着剤・シート以外の使用は認められない。

## 3. 競技服装

- ・ ゼッケンは2022年度JTAA指定のものを着用すること。
- ・ 競技服装はJTAA公認マークがあるものを着用すること。
- ・ 団体戦では、靴及び靴下を除き同じユニフォーム、同色の短パンで競技することを原則とする。
- ・ 対戦相手と同じまたは似通ったユニフォームの場合、どちらかに着替えてもらうことがあるので2着以上のユニフォームを準備すること。
- ・ 25年度より女性のみでの大会に限り、肘・膝より長いアンダーウェアの着用を認めた。ヘアバンド・リストバンドも着用できる。但し、このすべてにJTAA指定業者以外のマークが見えることは認めない。

## 4. その他

- ・ 団体戦は全て2点先取とする。
- ・ 1、2番は異なる4名で出場、3番は1、2番と異なるペアで組むこと。
- ・ 団体戦は監督、個人戦は競技者本人のみが抗議権を持つ。
- ・ 団体戦はベンチの誰からでも、個人戦は1名のアドバイザーからのみアドバイスを受けることができる。
- ・ 競技者は、それによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。
- ・ ポイントが決定した後は速やかに次のサービスあるいはレシーブの体勢をとり、競技時間の遅延を避けること。
- ・ 原則、全種目とも予選リーグ戦は試合の無いチーム(選手)が審判を担当し、トーナメント戦は敗者審判制とする。
- ・ タイムアウト制は適用しない。